

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)
(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

1. 講 師 奥羽大学大学院咬合機能修復学
元教授 嶋倉 道郎 先生
2. 演 題 歯科医に必要なレーザーの基礎知識
3. 日 時 平成29年10月19日(木)17:00～18:00
4. 場 所 7号館(歯学部校舎棟)2階 第2講義室
5. 抄 録

レーザーは 1960 年にメイマンが初めて発振に成功してから、自然光には無い特徴を生かして色々な分野に応用されるようになり、今では我々の生活に欠かすことのできないものとなっている。近年は歯科医療の分野においても、保険診療として齲蝕治療や歯周治療にレーザーを使用することが認められ、補綴領域でもCAD/CAMで補綴物を製作する場合の計測や加工、溶接などに応用されている。このようにレーザーは現在非常に便利な装置となっているが、その特性を正しく理解しないで使用している場合も少なくない。そこで歯科医にとって必要なレーザーの基礎知識と、今後のレーザーの可能性について考察してみたい。

連絡先: 三浦 宏之(岡田 大蔵)(摂食機能保存学分野 内線5521)